

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名				
○保護者評価実施期間	R8年 1月 21日		～	R8年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数)	31
○従業者評価実施期間	R8年 1月 21日		～	R8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 2日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境、空間	事業所内の清掃・消毒を定期的に行い工具や備品の定期的な点検、洗浄を行うことで清潔で安全な環境づくりに努めている。活動スペースも規定より広く取っているので体を動かすプログラム等も室内で行うことが出来ている。	季節に応じた換気や温度管理、備品の入れ替え、環境改善に関するチェックリストの活用などを行い、継続的な環境改善を図っていく。また、児童の安心感やリラックスにつながる環境づくりを検討し、より心地よい空間の提供を目指して行く。
2	子ども一人一人に寄り添った支援	お子様一人ひとりの特性や気持ちに寄り添いながら、個性を尊重した関わりを心がけています。日々の遊びや活動の中で、「楽しい」「できた」が積み重なるように、支援の工夫を続けている。	「計画→実行→評価→改善」を常に行う。
3	保護者とのつながりを大切にした対応	保護者の方との日々のやり取りやご相談を通じて、家庭との連携を大切に支援を実施している。お子様の成長や変化を一緒に見守り、共有できる関係作りを心掛けている。	連絡帳や面談に加えて、電話やLINEなどを活用しながら、保護者の皆様が安心してやりとりができる環境づくりを進めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会などの交流の機会	希望する保護者が少ない、お仕事をされている保護者が多く、日程調整が難しい。R7年度は親子参加型夏祭りを行い、交流の場を設けたが、中々交流中心の会にはならなかった。夏祭りのイベントが保護者同士の交流の機会としての認識に至らなかったと感じる。	参加してもらっただけでなく、話をする時間作りが必要だった。時間のとり方や、参加型ではなく、父母会として検討していきたい。
2	学童、児童館等地域との交流	児童館や、図書館、スーパーでのお買い物等で地域資源の活用、交流を行っている。保護者へはどんな目的でプログラムを組んでいるのかの共通理解が出来ていなかった。	保護者へ分かり易く図書館や、児童館を利用する意図等を発信していきたい。また、地域で行っているイベントに積極的に参加し交流を増やしていきたいと思う。
3	家族支援、ペアレントトレーニング等	ペアレントトレーニングに関する職員の専門性や経験に差があり、体系的な支援プログラムの実施に至っていない。個別相談どまりになってしまっている。	ペアレントトレーニングについては、職員研修及び支援マニュアルの整備を行い、段階的に実施体制の構築を図ってきたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	
------	--

公表日 R8年3月6日

利用児童数 R8年3月6日

回収数 31名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	29	2				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	28			3		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	28			3	・良く見てくださっている。	バリアフリー構造になっており、車いす等でも問題なく活動できるよう配慮しております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	31				・とても綺麗だと思います。	送迎車、施設内共に日々清掃、消毒を行い清潔に保てるよう努めております。活動スペースやオモチャ、プログラムで活用するものなど、安全性を確認し、事故やけがにつながる様、心掛けています。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	29	2			・毎回の連絡で、その日の出来事や支援内容を教えてくださり、とてもありがたいです。 ・SQUPさんで受けられる専門的支援は、子供も苦手な事を遊びながら楽しく行っており、子供が楽しみにしています。是非続けて欲しいです。親の私も、子供との関わりで参考になっています。 ・ひとりひとり違うし、今本週に必要な支援なのか、という所や段階もある故、継続する支援になっているのが疑問。集団で、というのは難しい部分だと思う。	保護者様と密に情報共有を行っていきお子様一人一人の特性や成長に合わせたプログラムを考えお子様が楽しく取り組みよう心掛けていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	29	1		1	・ひとりひとりに合った、というのは個別でない限りは難しそう。	事業所が公表している支援プログラムに基づいて支援内容を明確に示し、実際に提供される支援と一致するよう努めて参ります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	30	1			・特性や性格などは十分に理解してくれている。 ・気持ちの面ではどうか分からない。	送迎時やご面談での保護者様とのやりとりにも重きを置き、ニーズに寄り添った支援内容の設定、実施を心掛けております。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	29	1		1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	30	1				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	29			2		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	4	1	18		地域資源を活用し、近隣の公園や施設を利用しています。地域での戸外活動を行っているのは、「地域児童との触れ合い」もねらいの一つである事を保護者へ周知して参ります。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	30			1		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	31					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	4	1	12		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	30	1			・利用日が少ないので。	面談や送迎、電話やアプリなどで迅速な情報共有を行っています。相談支援事業所や関係機関とも共有を行い共通認識の中一貫した支援を目指しています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29	1		1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30			1	・人による。	今後もお子様やご家族の思いに寄り添った支援を心がけてまいります。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	5	4	10		保護者会は設けておりませんが、保護者様参加イベントを実施しております。参加型イベント時にきょうだいの参加できるよう今後検討していきたいと思っております。交流の場は少ないので機会を作って参りたいと思います。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26			5	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30	1			・とても細かく報告してくださっています。 日頃より、子どもたちや保護者の皆様との意思疎通や情報共有にご協力いただき誠にありがとうございます。今後も保護者様のニーズや思いに寄り添い伝わりやすい伝え方を心掛けて参ります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	30			1	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	30			1	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	29	1		1	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	30			1	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	30			1	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	28			3	・送迎の際、事故にあった時にすぐに連絡があり、状況や対応を教えてくださいました。 事故発生時には速やかな連絡と詳細な説明を行うようにしております。保護者の方々に安心していただけるよう、より迅速かつ丁寧に参ります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	29	1		1	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	28	3			・楽しい、行きたいと言っています！とても楽しく通っています。 引き続き支援内容を工夫し、個々のお子様に合った楽しく、安心して過ごせる環境づくりを行っていききたいと思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	30	1			充実した支援が提供できるよう、改善に努めて参ります。具体的なお要望や不安な点がございましたらお気軽にお聞かせいただければと思います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		SOUP		公表日		R8 年 3 月 6 日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	一人当たり4㎡以上の広さを確保でき、複数の活動を室内で行うことが出来ています。また、活動に合わせた空間づくりを意識して取り組んでいます。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		8	0	法令で定められた職員配置基準を遵守した人員配置を行っています。	法令上の基準は満たしているため、今後も職員のスキルアップに努めてまいります。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		8	0	児童福祉施設として建設されたものなので全てバリアフリー構造となっています。また、視覚的にも分かり易く掲示物等で工夫しています。	引き続き子どもたちが分かりやすく過ごしやすい環境を目指し、適切な配慮を行ってまいります。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		8	0	・消毒・清掃もマニュアルに基づいて行っています。 ・感染予防のため、子どもが活動する部屋を換気しています。 ・老朽化についてはやむを得ないが、必要な修理・改修を繰り返しています。 ・害虫駆除の実施	引き続き環境整備に努めてまいります。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		8	0	訓練室とは別に個別に対応できる空間を設けられています。	引き続き環境整備に努めてまいります。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0	毎朝の朝礼時や月例のミーティング時に全職員で業務における話し合いを実施しています。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	保護者様からのコメントは少なかったが、頂いたコメントに対して改善すべき事案は早急に話し合い改善をしています。	職員全体で保護者ニーズを把握し、引き続き改善に向けて努めてまいります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	担当者が個別に面談を行い、日々の業務における改善点を聞き取り、改善しています。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1	今のところ実施予定はないが、今回の自己評価を基に改善すべきものは改善している	今後検討していき、業務改善につなげていきたいと思っております。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	地域で開催されている研修に参加したり、外部研修に参加し知識の向上に努めています。	引き続き社内研修や社外研修に積極的に参加し、学びの機会を確保してまいります。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	お便りやホームページで公表しています。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	定期的に保護者との面談を行い、保護者、本人の意向に合わせた支援計画を作成しています。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	児発管が作成した原案をもとに会議を行い子どもの支援に関わる職員と意見交換しながら子どもの最善の利益を考慮し検討しています。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	児発管が作成した個別支援計画書は職員間に共有しています。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	終礼議事録にその日の出来事を記録し可視化しています。	今後も児童一人一人の想いに寄り添った支援を心がけていきます。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	相談員、保護者様と連携を取りながら児童発達支援管理責任者が個別支援計画書を作成し、それを基にお子様にあった活動内容を話し合い支援内容を設定しています。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	職員間でミーティングを行い、活動プログラムの立案を実施しています。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	ミーティング等で職員間でアイデアを出し合い、固定化しないようにしています。以前行ったものであってもルールを加えたり、難しくしたりなど楽しく取り組めるよう工夫しています。	常に新しい情報を取り入れながら成長や状態に合わせたプログラムを考案し、職員間で意見交換しながら行っていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	個別や集団での活動を組み合わせ、利用者に合わせて計画の作成、支援をしている。	今後も児童の状況に応じて支援計画を作成していくように努めます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	ミーティングで当日の流れ、担当、時間配分、プログラムの内容、ねらいを共有し役割分担を明確にして支援に当たっています。	今後も綿密な打ち合わせを実施し、支援に活かしてまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	日々振り返りを行い、業務日誌にその日の出来事や反省点を記載し当日不在の職員にも共有できる仕組みを作っている。また話し合いが必要な場合はミーティングの場を設けています。	今後も綿密な打ち合わせを実施し、支援に活かしてまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	日々支援記録や業務記録を作成し、必要に応じて改善をしている。	支援の記録を取り、振り返りを行い、支援方法や、現状の評価を行いながら課題や、共通認識の確認を行いながら引き続き支援を行ってまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	定期的なモニタリング、個別支援計画の見直しを行っている。	職員全体でモニタリングを行い、それぞれの小さな気づきを大切に、共有しています。意見交換しやすい環境を作り、良い支援が出来るよう努めていきたいと思います。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	0	生活スキル練習やSSTの自立支援、日常生活の充実に関する活動を実施し、屋内、屋外遊び、季節行事などの余暇活動を通して安心して楽しく過ごせる時間を提供している。	活動内容の振り返りを行い、個別支援計画の運動を強化し支援の質の向上につなげていきます。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	活動内容や、遊び、複数の選択肢を提示し、子ども自身が選べる機会を設けています。また、簡単な自己選択から徐々に自己決定の幅を広げられる様支援しています。	支援の振り返りを行い、改善につなげていきます。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	児童発達支援管理責任者と、児童指導員、保育士が参加しています。	職員全体でモニタリングを行い、それぞれの小さな気づきを大切に、共有しています。意見交換しやすい環境を作り、良い支援が出来るよう努めていきたいと思います。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	地域の医療機関と協力関係を構築し緊急時や健康管理に関する相談が出来る体制を整えています。	緊急時の対応フローや連絡体制をさらに明確化してまいります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	送迎時に先生と子どもの情報共有を行っています。毎月の予定表を保護者より提出して頂いています。緊急時や送迎の変更等がある場合は連絡が取れる体制を整えています。	保護者様から下校表を頂き、調整や時間の変更等は学校と連携して行っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1	直接の情報共有は中々難しいので支援員さんを通して情報共有を行っています。	契約の前の保護者様からの聞き取りで就学前の情報を頂いています。また、必要に応じて相談支援事業所や前事業所とも連携を図っていますが保育所等とも情報共有を行ってきたいと思います。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	1	そのような児童がないため対応した実績はないが今後あった場合は共有を行ってきたい。	連携を図ってきたいとおもいます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	0	支援困難ケースについて助言を受け、センター主催の研修や外部研修に職員が参加し、発達支援に関する専門知識や技術の向上を図っています。	積極的に研修を受ける機会を増やして行きたいと思います。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	1	他デイや、児童館、公園利用で地域の子どもと交流を持つ機会を持っています。	引き続き、公園や児童館、地域の活動に積極的に参加し、交流を深められる様努めていきたいと思います。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	7	1	参加しています。	引き続き参加していきたいと思います。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	サービス提供記録や送迎時に日々の様子を伝え、家庭での様子を伺い共通理解につなげられるよう、努めています。	お迎え時、送迎時、連絡帳やお電話等にてお子様の様子をお伝えし、共通理解が持てるよう取り組んでいます。今後も情報共有しやすい環境づくりを行ってきたいと思います。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2	ペアレントトレーニングに関する専門性や経験に差があるので体系的な支援プログラムの実施に至っていない。個別で支援を行っています。	ペアレントトレーニングについては、職員研修及び支援マニュアルの整備を行い、段階的に実施体制の構築を図ってまいります。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	利用開始前に重要事項説明書や契約書の説明を通して、運営定、支援内容、利用負担について伝えていきます。	今後も丁寧な説明に努めます。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	アセスメント以外にも見学や体験の際に、簡単な聞き取りと様子を把握するように、また利用者本人にも日頃の活動の関わりの中で気持ちを聞き取るようにしています。	今後も要望や意向の確認をしながら作成してまいります。	
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	作成後説明を行い、同意を得ている。要望があった際には変更し、再度同意を得るようにしています。	今後も丁寧な説明に努めます。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	必要に応じて面談、電話、送迎時に助言等行っています。	引き続き、保護者との信頼関係が構築できるように努めてまいります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7	1	R7年度は親子参加型夏祭りを行い、交流の場を設けたが、中々交流中心の会にはならなかった。夏祭りのイベントが保護者同士の交流の機会としての認識に至らなかったと感じる。	父母会として検討していきます。また、保護者、きょうだいも参加できるイベントも検討していきたいと思えます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	相談窓口を設置し、掲示の上周知をしている。契約時にもご説明をしています。	相談や申し入れがあった場合は迅速かつ適切な対応に努めていきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	毎月のおたより、ホームページ、アプリ等で活動の配信、行事予定を発信しています。	今後も情報発信の充実と周知に努めてまいります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	個人情報管理規定に基づき管理しています。	今後も個人情報が記載された書類の取り扱いや、フィードバック時の距離など、十分に留意いたします。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	意思の疎通が図れる様、イラストでの視覚支援や選択肢を準備し支援しています。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	3	イベント等で地域のお店を利用するなど地域交流を図っています。HPで活動の紹介をするなど、地域や一般の方に向けても情報発信をしています。	地域に開かれた事業所運営ができるよう努めていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	各種マニュアルは相談室に備え付けてあり契約時に周知しています。また、避難訓練に加え、感染症や防犯なども職員間でシミュレーション訓練を行っています。	引き続き、訓練等の実施と内容の周知を行っていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	定期的に避難訓練やその他研修、マニュアルの読み合わせ等を行っています。	引き続き、訓練等の実施と内容の周知を行っていく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	契約時や、面談時に確認しています	引き続き契約の前に保護者様とお子様についての聞き取りを行い、服薬や予防接種、てんかん発作等の状況の確認を行ってまいります。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	契約時に必ず確認し対応しています。指示書に基づいての対応やエビデンが必要な児童など対象の児童はまだないが、アレルギーの研修にも参加し対応できる準備は行っています。	飲食のイベント等は、併せてアレルギーの有無を確認いたします。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	安全計画を作成し、訓練、研修等を行っています。	委員会を設定し、指針の作成とマニュアルの整備、研修の実施と必要な訓練を行っています。今後も引き続き安全管理が十分された中で支援が行われるよう努めていきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	熱中症の注意喚起など、何かお知らせすべき事項がある際は、掲示やメール等で周知しております。	引き続き、内容の周知を図っていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	職員間で共有できるようファイリングしています。ミーティングで共有し、再発防止に向けて検討しています。	引き続き、安全に留意し支援を行ってまいります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	虐待防止研修を行い、掲示等行っています。	引き続き関係機関との連携を図りつつ、定期的に研修を実施してまいります。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	契約時に説明しています。研修等行っています。	今後必要な場合には十分に検討し、丁寧な説明を行うとともに身体拘束の適正化に努めます。	